

令和5年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	創立記念講演会（兼SSH講演会）
期 日	令和5年11月1日（水）
会 場	長岡高校大体育館
対 象	全校生徒
目 的	大学や研究所、企業から研究者・専門家を招き、講演会を実施する。低学年から計画的にロールモデル、キャリアモデルを示し、生徒の意識啓発を促す。また、先端の科学技術に触れることで生徒の科学技術に対する興味・関心を刺激し、研究意欲、学習意欲の向上を図る。
内 容	<p>演題 「未来のために今できること」</p> <p>講師 国境なき医師団日本 産婦人科医 鈴木 美奈 様</p> <p>【前半】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界で起きている命の危機</li> <li>・国境なき医師団の活動</li> <li>・グループディスカッション</li> </ul> <p>【後半】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私の活動から皆さんに伝えたいこと</li> </ul>



講演の様子1



講演の様子2



グループディスカッション



講師への質問

感想など

●今回の講演を聞いて、「国境なき医師団」のことと未来のために今できることがたくさん学べるがあった。まず、国境なき医師団については、今まで自分が思っていたイメージと違うところ（医者以外もいること）もあり、独立、中立、公平での判断の難しさを感じた。平和について学べる機会となったと思う。未来に向けたこととしては、4つの内、二つが心に響いた。難しい判断をするのは、自分の経験をもとにしかできないので、経験をたくさん今のうちにしておくことがすごく大切なんだと思った。また、何事も全力で夢に向かっては、困難ものりこえていかないとなんだと改めて感じた。今回の話から、今の自分はすごくめぐまれていて、その中を全力で生きることの大切さを知ることができたので、これからの考え方に生かしていきたいと思います。

●日本で不自由なく暮らせているからこそ私たちには困っている他人を助けることができる余裕があるはずだということに改めて気づかされました。若いうちにいろんな経験をしていざ困っている人を助けるときに中立・公平な判断ができるようになりたいです。また、1人で膨大な夢を持っていても叶えることはなかなか難しいと思うので「国境なき医師団」のように同じ志を持つ人たちと活動して仲間と協力して目標を実現するのも大切だなと思いました。幸せな環境に日々感謝しながら将来に夢と希望をもって鈴木さんのように未来を切り拓いていきたいです。